

新型コロナウイルス感染症の予防対策について

1, 感染経路

大きくは以下の経路が考えられるのでそれぞれについて予防を意識することが必要

- 1) 微小飛沫などを呼吸で吸入することによる感染
- 2) 粘膜(口、鼻、目)に直接飛沫を浴びたり、ウイルスの付着した手などで触れたりすることによる感染

2, 感染予防の基本

- 1) 吸入予防にマスク着用(予防としては不織布マスクが推奨)
※ただし、プレー中については脱水症、熱中症に配慮して検討
- 2) 飛沫を抑える、浴びないためお互いにマスク着用
- 3) マスクしていない者と接する際はフェイスシールド、ゴーグルなど目の保護も検討
- 4) 手指の消毒、石鹸を用いた手洗い、複数の者が触れる場所の消毒
- 5) タオル類、飲料などは共用せず各個人で区別

3, 予防対策、濃厚接触の起きる状況についての注意点

マスク等をしていても濃厚接触、感染の可能性のある場面があるので注意が必要

- 1) お互いにマスクをしていたとしても、窓を開けるなどの換気ができていない車に長時間(15分以上)同乗していた場合などは濃厚接触が起こる状況
- 2) ミーティングなどでも1)と同様に換気ができていない狭い部屋で長時間同室すれば濃厚接触のリスクあり
- 3) マスク非着用の選手の対応(指導、コーチ、治療など)をする際には、マスク着用だけでは目の粘膜の保護ができていないので飛沫による感染のリスクがあり
 - ・医療現場での対応ではフェイスシールド類が求められている
 - ・JBA のガイドラインでは、テーブルオフィシャルなどオンコートのスタッフはフェイスシールド着用が推奨
 - ・手袋をしていてもウイルスが付着した状態で顔、粘膜に触れれば感染の可能性あり

4, リネン類、食器類の対策

通常の洗剤を利用した衣類の洗濯、食器洗いなどでウイルス対策は可能とされている

<参考>

- ・厚生労働省ホームページ
- ・日本バスケットボール協会「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)」